

稲荷山蔵し館の修理工事について

【ご意見】

昨年7月より休館中の稲荷山蔵し館ですが、令和8年1月頃まで休館延長のお知らせを回覧板で知りました。

稲荷山が重要伝統的建造物群保存地区に指定されて以降も入場者数が伸び悩んでおり、地元住民からも「本当に必要な施設なのか？」との声も聞こえています。公共施設管理計画等にもございますように、根本的な利用形態などを考えるタイミングにあると思います。今回の長期休館後に、建物はきれいになったけれども、結果的に相変わらず工事前と同様な利用程度となってしまうのは残念に思いますので、つぎのことをお願いしたいと思います。

1. 地域住民とのワークショップの場を設けてください。… どのようなハード及びソフトが今後必要と思うのか住民と再認識できればと思います。重伝建でも住民参加の必要性が言われています。

2. 「(仮)蔵し館」を空き家等を利用して、開設してください。… 本当に長期間の休館が必要なのかの疑問もありますが、長期休館とするのであれば、稲荷山でも課題となっている、空き家を活用して、一部の企画展示などを行えないでしょうか。

稲荷山重伝建において、様々な計画があるようにも聞いていますが、「蔵し館でさえ、持て余しているのに、、、。」という状況を改善し、住民参加を促すきっかけにして頂きたいと思います。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答:歴史文化財センター】

1 ワークショップの開催について

本年度、稲荷山重伝建地区の防災計画策定を計画しており、その過程で地域住民の皆さんを対象としたワークショップの開催を予定しています。ワークショップでは稲荷山地区の防災に係る課題だけでなく、様々な課題の意見交換を行いたいと考えておりますので、蔵し館の今後の在り方についてもご意見をいただければ幸いです。

2 空き家等を利用した蔵し館の展示について

空き家を利用した蔵し館の企画展示につきましては、休日や夜間における施設や資料の管理方法に課題があるため、実施する予定はありません。ご理解をお願いいたします。昨年度も実施しましたが、本年度も蔵し館の修理工事現場の公開を計画しております。伝統的建造物の構造を知ることのできるまたとない機会ですので、ご参加をお願いいたします。